

1月30日(木) (9:30~17:00)

研究成果発表 I

1. X線結像光学の概要 山下廣順 (宇宙研)
2. 軟X線光学の基礎 山本正樹 (東北大科研)
3. 結晶X線光学 松下 正 (高エ研)

昼 食 (11:50~13:20)

4. X線顕微鏡 青木貞雄 (筑波大物工)
5. X線望遠鏡 山下廣順 (宇宙研)

休 憩 (15:00~15:20)

6. X線結像光学系評価法佐藤 繁 (東北大理)
7. X線結像光学の基盤技術
難波義治 (中部大工)

懇親会(17:30~19:30)ポスターセッション会場

1月31日(金) (9:30~17:00)

特別講演 I

8. 結像光学 一光からX線へー
波岡 武 (NASA, 東北大名誉教授)

9. Present Status of X-Ray Optics
David T. Attwood (Lawrence Berkeley Lab.)

昼 食 (11:30~13:00)

研究成果発表 II

10. ポスターセッション (30件)
展 示:多層膜, 顕微鏡, 望遠鏡, 検出器, …
ビデオ:実験装置, CCD, 活動状況, …

特別講演 II (14:30~17:00)

11. 基礎科学におけるX線結像光学
佐々木泰三 (高エ研名誉教授)
12. 産業界におけるX線結像光学
石井芳一 (NTT 境界領域研究所)
13. まとめと今後の展望

問い合わせ先:

参加ご希望の方は下記までご連絡下さい。参加
申込書をお送り致します。
〒229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 山下廣順
TEL: 0427-51-3911 内線 2536
FAX: 0427-59-4253

星空市場

ゆずります

天文学会欧文報告(PASJ)18巻3号(1966)~41巻5号(1989)をひきとって下さる方を捜しています。送料を負担していただければ雑誌そのものは無料です。国立天文台太陽物理学研究系桜井まで御連絡下さい。(TEL 0422-41-3716)

【編集部より】

大変身(?)を遂げた天文月報はいかがでしょう。この新装丁と構成は、編集部が熱い討論の末、練り上げたものですが、わずか6名の天文研

究者のみの編集部なので、自己満足的な側面も多
かろうかと思えます。改革まで日が浅かったので、
多くの方々の意見を聞くことができませんでし
た。特に、アマチュアの方々のニーズが反映され
ていないのではないかという危惧もあります。今
後は、可能な限り皆様のご意見を取り入れて、改
善していきたいと思っています。新装丁・新構成
について、ご不満やアドバイスなど、どんなこと
でも結構ですから、是非ご意見、ご感想をお寄せ
ください。天文月報は、一般読者ならびに天文学
会員のものです。大いに利用し、情報交換や研究
に役立てて下さい。

平成3年12月20日 印刷発行 定価 550円(本体 534円)	発行人 〒181 東京都三鷹市国立天文台内 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 発行所 〒181 東京都三鷹市国立天文台内 電話 (0422)31-1359	社団法人 日本天文学会 啓文堂 松本印刷 社団法人 日本天文学会 振替口座 東京 6-13595
--	---	---